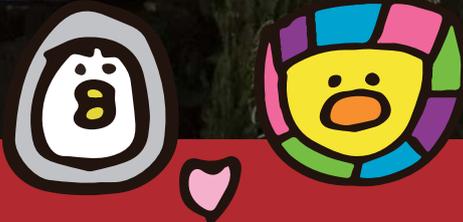


すれ違いぎわに「こんにちは」と挨拶できる街へ

あるまっぷ

ARMap

千代田区
Chiyoda Ward



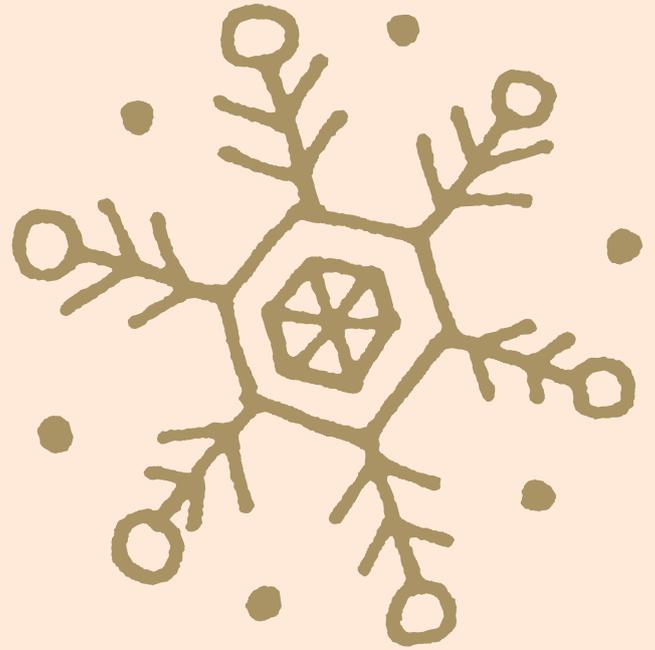
結婚式が終わってもずっと繋がっていたい
株式会社Diamond Designers
代表取締役 蓮井 英理さん

徳川家康の深い思索と決断
お江戸のおはなし

地元の「飲食店千ヶツト」を買って、
おいしい「ありがとう」を届けませんか？
あやまっぷ CHIYODA



もくじ



Page

マンガで自己紹介
3 ぴよ蔵プロフィール

結婚式が終わってもずっと繋がっていたい
4 株式会社Diamond Designers
代表取締役 蓮井 英理さん



徳川家康の深い思索と決断
8 お江戸のおはなし



地元の「飲食店千ヶツト」を買って、
おいしい「ありがとう」を届けませんか？
9 あけまっぷ CHIYODA



あるまっぷとは？

半蔵門生まれの「ぴよ蔵」が千代田区を中心に素敵な発見を案内しているフリーマップです。このマップを手にとった人たちが少しでも地域を好きになってもらえたらと思いながら制作しています。



ぴよ蔵プロフィール

このひよこ忍者の名前は
ぴよ蔵。
身長は25.5cm
体重は200グラム



忍者としては
まだひよっこピヨ。

2016年10月17日半蔵門生まれ。

巷では服部半蔵の生まれ変わり
とされている。

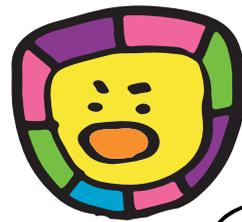
と、本人が勝手にそう思っている

誕生した瞬間から
イケメンピヨ…。



夢は
世界中の皆が明日に希望を
もって生きていること。

そしてご先祖さまの志を
受け継ぐこと…。



志って何だピヨ？

趣味は街に出かけて人と話すこと。
あらゆる方面から情報を集めている。



虫メガネ
買ってみたピヨ。

それが忍者の務めだと勝手に励んでいる

特技は
3mジャンプ！

垂直飛び選手権があったら
間違いなく優勝してるピヨ。

忍者の血を引き継いでるかどうかは別にして
身体能力は高い



苦手なものは
チキン南蛮、若鳥のから揚げ、親子丼



お、おいしそうピヨね



鶏肉料理の話になると妙に静かになる

こんなボクですが、
よろしくお願ひしますピヨ。

人気者になれるよう
がんばるピヨ～。





完全オーダーメイド 十人十色の結婚式

◇新郎新婦さんからはどんな要望が多いですか？

例えば、「ドレスにお金をかけるよりも、美味しいお料理をみんなに出したい」「二人の思い出の場所の近くで式を挙げたい」「余興でのパフォーマンスの都合で、天井の高い場所を探してほしい」など、十人十色です。新郎から「新婦に内緒でサプライズをしたい」という相談を受けることもあります。

◇どんな結婚式があるのでしょうか？

以前、結婚式のテーマを「協奏曲」にした新郎新婦がいらっしゃいました。そこで式場の真ん中にオーケストラを呼び、入退場は全て生演奏、周りをゲストテーブルが囲うという演出をしました。高砂のお花はゲスト全員が生けて、みんなが途中まで作った高砂をその後のショーとしてフラワーアーティストが完成させるというパフォーマンスを行いました。こういった演出はこれまで見たことがないと言われましたが、やろうと思えばそんなに難しいことではないのです。



お客様のご要望に 全力でチャレンジ



◇日本のウェディングについて、どう思いますか？

日本の結婚式は新郎新婦・ゲストともに式の満足度が意外と低いというリクルート社のアンケートデータがあります。新郎新婦のほとんどが初めての結婚式ですので、なかなか満足できる式のやり方にたどり着けないのだと思います。そもそも、ブライダル業者や結婚式場のほとんどは会場や人件費、広告費などが必要ですが、弊社は設備なども持っていないですし、広告も出していません。ですので、同じお金を使うとしても、原価とクオリティをはるかに高くすることができます。それで結婚式場にはないような企画も考えられるというのが弊社の強みですね。「今回だけ使って良いですよ」とお借りした会場からも、式が終わると「素晴らしい式だった」「こんな結婚式みたことない」と言っていたら、その後も会場を使わせていただけるケースもあります。もしかしたら、多くの会場は効率を重要視してするあまり、お客様の要望にチャレンジしきれていなかったりするのかもしれない。



お客様と社員がひとつのチームになる



◇仕事のこだわりをお聞きしても良いですか？

ウェディングの仕事をしていると、どうしても自分の価値観を押し付けがちになることがあります。例えば「このドレスがかわいい」とか「これが似合いそう」と思えば、それを何となく勧めがちです。けれど、新郎新婦がそれを着たいかどうかは別ですよ。ですから自分の価値観やこだわりは一旦置いておいて、相手の価値観にどれだけ耳を傾け、それを形にしてあげられるかが、この仕事の大事なことだと思います。相手の中にあるものをどれだけ引き出せるか。保険も一緒に、一般的な保険プランを提案することはできますが、同じ年齢でもその人の人生の環境や状況はみんな違います。ですので、保険でいえば商品、ウェディングで言えば会場、となりがちなものを、まずはその人が何を大事にしているのか、何を実現したいのかということをしっかり和聞きするようにしています。ベテランになると、「この人はこういう感じかな」というのが分かるようになってくるのですが、それではいけないと。常に一人ひとりのお客様の話を聞けるように心がけています。

◇この仕事をしていて良かったと思う瞬間は？

今では結婚式の現場に出ることは少ないのですが、弊社の社員からすると、結婚式当日は卒業式のような感じです。それまでずっと、新郎新婦からたくさんお話を聞かせていただき、一緒にたったひとつの結婚式を作りあげていき、そして結婚式当日にひとつのゴールを迎えます。そのタイミングで、すごく寂しそうにしている様子を見ると「きっと良い仕事をしたんだな」とわかり、うれしくなります。また、弊社の習慣の一つとして、結婚式が終わった後に新郎新婦と関わったスタッフ全員で集合写真を撮る、というものがあります。私たちプランナーやお花屋さん、カメラスタッフなどが写るのですが、後日新郎新婦宅を訪問すると、その写真を家に飾ってくれていたりします。一緒に何かを作りあげたという喜びをお客様と共有できるのが、この仕事をして良かったと思う瞬間です。



◇どうしてその一体感が生まれるのですか？

スタート時期からそういう想いだからです。フォトグラファーや映像を撮るスタッフ等のことを私たちはクリエイターと呼んでいます。クリエイターは、お客様に合いそうなスタッフをご紹介します、その都度アサインしています。そして、基本的には全クリエイターに、事前に新郎新婦に会ってもらい、「どんな写真を撮ってもらいたい、何を重要視してほしいか」など、事前にヒアリングを済ませるようにしています。それは会社設立当初から大事にされていて、品質や温度感をみんなで保てるように心がけていることです。一方で、クリエイターには適正価格をきっちり払うことも大事にしています。良い仕事をする方々にはずっと続けてもらいたい、その上では大切なことだと感じています。



◇蓮井さんをご紹介いただいた方から、「物凄くエネルギッシュな人だよ」と言われていたのですが、本当にその通りでした。

仕事って、何かでこだわらないと全部ダメになってしまうと思うのです。ひとつ手抜きをすると全部なし崩しでダメになるような気がして、だからやるならトコトンと思いません。それと、ビジネスは継続して初めて成立するものです。例えば営業職といったら売ることが仕事なのではなく、売り続けることが仕事。私たちの仕事もその瞬間瞬間が良いのは当たり前で、それをしっかり継続できるかどうかを考えると、自分たちが良いというだけでは続かないですね。仕事が次へと繋がっていくためにも、自分たち以上にお客様や関係者にとっても良いものを提供したい。当然、会社として利益の追求もしていきますが、それ以上に仲間と助け合っていくというのが設立当初からある想いです。



◇結婚式が終わってもずっと繋がってほしい

保険の代理店もやっていると新郎新婦さんのその後を見ていけるんです。子どもが生まれました、お家を買いました、など。そういう変化がわかるので、結婚式の後も違うかたちで繋がれることが嬉しいです。新婚旅行が終わったらお土産を持ってきてくださったり、結婚式当日を撮ってくれたフォトグラファーに毎年家族写真をお願いしているご家族もいらっしたりします。結婚式の後もちゃんと繋がっていることが嬉しいです、私たちはそういうことを大切にしているウェディングプロデュース会社です。



挙式後も、毎年秋に写真撮影の恒例イベントがあります。年賀状の写真として使われることも多く一番人気のイベントです。



株式会社 Diamond Designers

ダイヤモンド デザイナーズ

住所：東京都千代田区麹町1-10-13アルシュ麹町6階
ホームページ：<https://www.diamonddesigners.jp/>

YouTube



Instagram



お江戸の おはなし3



花のお江戸・日本の中心はここ東京。

誰もが当たり前で認識しているこの事実も、

徳川家康の深い思索と決断がなかったらこうなっていなかったのですって。

徳川家康がまだ荒れ地のような関八州に左遷された頃の経済状況は、取引の度に天秤や分銅で金、銀の重さを量り、重さに応じて輸入銅銭と交換するなど、非常に煩雑なものだったようです。政府の信用という概念がないため「自分の身は自分で守る。自分の金は自分で目利きする」という商人たちの当たり前の覚悟があったといいます。この頃の豊臣秀吉は明の征服という野望に取りつかれ、大名達を朝鮮に出兵させる準備に忙しく、家康から江戸に金工派遣を要請されてもあっさり承諾しました。江戸に着任してから丸3年経っても江戸城は完成していない、天守もない、屋根に瓦もない平屋の建物という状態の中で“江戸をゆくゆく天下一の街にするには独自の貨幣を持たねばならぬ”と、家康は構想実現のために着々と手を打っていました。

家康が派遣を依頼した京都の後藤家は、織田信長、豊臣秀吉などに重宝され五代で100年かけて培った金工技術を持つ家柄でしたが、家康がターゲットにしたのは後藤家の腕の立つ職人であった橋本庄三郎でした。秀吉はもっぱら後藤家に十両の大判を鑄造させ大名たちに褒賞として与えていましたが、家康は庄三郎に一両小判の製造を指示。そうこうするうちに秀吉の死、関ヶ原の戦いの勝利をもって遂に徳川の時代がやってきました。関ヶ原の翌年には地名表示のない小判、全国に等しく流通することができる単なる小判を発行します。これこそが日本史上はじめて貨幣の面で天下統一を果たしたもののなのです。そして、補助通貨の一分金（一両の四分の一）も鑄造した結果、枚数を数えるだけで正確に額を共有できる計数貨幣が主流となり、常識となりました。今日の私たちの経済活動の習慣は、この時定まったのです。

庄三郎の役宅があった場所は、後に町割りが行われて橋が架けられその橋の名に合わせて日本橋と呼ばれることになる土地で、21世紀の現代、そこには日本銀行本店があります。

（門井慶喜著 「家康、江戸を建てる」を参考にしています）

びよ蔵くんのご先祖（？）服部半蔵についても
あるまっぶのHPにてご紹介しています！

執筆：半蔵門の母



地元の「飲食店チケット」を買って、
おいしい「ありがとう」を届けませんか？

あるまっぷの姉妹サービス



あげまっぷ CHIYODA

はじまりました！



これからどんどんお店も増えていくピヨ！
要チェックしてほしいピヨ～

サイトはこちら！



あげまっぷ CHIYODA って？

千代田区の個人飲食店を中心に、そのお店のメニューを『飲食店チケット』として購入し、
メッセージと共に友達や普段お世話になっている人にプレゼントできるサービスです。

あなたが想いを込めて『このメニューをプレゼントしたい』と贈る気持ちは、

プレゼントを受け取った人はもちろん、飲食店の方々にも伝わり、

素敵なお店を応援する力へとつながります。



美味しい『ありがとう』を千代田区でまわそう



Investor's cafe (インベスターズカフェ)



ボクのお家に遊びにきてピヨ♪

あるまっぷの発行元であるソーシャルキャピタル・プロダクションが運営している憩いの場所。平日8:00~17:00にオープンしています。

コーヒーを飲みながらちょっとお喋りしていける、そんな心地良い空間です。近隣のオフィスの方にもご利用いただいています。

お弁当販売(予約制)や、オリジナルブランドのシャツの販売、交流イベントなども開催しているので、ふらっと遊びにいらしてくださいね。

タイミングが良ければぴよ蔵にも会えるかも!?

株式会社ソーシャルキャピタル・プロダクション インベスターズカフェ (千代田区一番町29-2 進興ビル1F)



「この件でぜひ取材をしてほしい」

「今後こんなテーマを扱ってほしい」

何でもお寄せください!

いただいた情報は、冊子の取材・制作に活かしていきたいと考えております。

TEL 03-6380-9994 (平日9:00~17:00)

MAIL info@armap.tokyo

あるまっぷをオフィスに送って欲しいという方もぜひご連絡くださいピヨ!

編集後記

あげまっぷに込められた「繋がり」の視点

2020年も残りわずかとなりました。今年は新型コロナという未曾有の事態が起き、今なおその最中ではありますが、弊社では4月から新卒のスタッフが入社するなど小さい会社ながら未来への希望を感じられる年でもありました。そのお陰もあり、これまで不定期発行だった本冊子も毎月発行ができるようになりますので、今後も楽しみにしていただけたらと思います。

また「あるまっぷ」では今年、千代田区と連携した区内のテイクアウト・デリバリー情報のあるまっぷのサイトに掲載する「飲食店応援プロジェクト」が立ち上がりました。現在は100店舗以上の情報が集まり、実際に活用された方々からの感謝の声は活動する上で大変励みになりました。それと同時に、区内で魅力的な飲食店を経営している方々にもお会いしましたが、やはりコロナによる飲食業界への打撃は計り知れません。そんな中で少しでも多く、心のこもった優しいお金を回すことができたらという想いで、地元の飲食店メニューをオンラインでプレゼントできるソーシャルギフトサービス「あげまっぷ CHIYODA」をリリースするに至りました。

あげまっぷのサイトをご覧くださいと、サイト上では各店舗のオススメのメニューが5つまで掲載されています。注目していただきたいのは、あるまっぷが掲げるテーマ「すれ違い際に“こんにちは”と挨拶ができるまちへ」に込めた、人との繋がりづくりの視点です。これまでの取材でも感じていましたが、地元の飲食店は地域に住む・通う私たちに笑顔や幸せな時間を与えてくれると同時に、地域の“見守り役”としても存在してくれています。そんな飲食店の方々と「このお店のこのメニューを人にオススメしたい」というお客さんの気持ちを双方で繋げたい。そんな思いやりの気持ちが地域の中で、経済とともにぐるぐると回ってほしい…そう願っております。本冊子を手にとった皆様もぜひ一緒に参加し、応援していただけますと幸いです。(山森)

SNSやってるピョ～



Twitter

@hanzomon_armap



Facebook

あるまっぷChiyoda



Instagram

hanzomon_armap



ホームページもあるピョ～

<https://armap.tokyo/>



ボクとお友達に
なってほしいピョ!



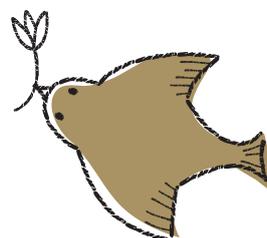
私たちは、千代田区という同じバックグラウンドを持ちながら
それぞれの生活を送っています。

そんな皆がすれ違い際に「こんにちは」と挨拶ができたなら
どんなに素敵でしょうか。

この地域は、新しいものと時代を引き継いでいるものが交じり合い、
時代と共に生きている私たちの生活は、たくさんのモノや情報で溢れています。

その一方で、おおらかさや慈しみのきもち、
心と心の触れ合いを通じた人の温かみを
毎日の生活の中でふと、感じたいと思うことはありませんか？

人と人との繋がりから生まれる価値を、
私たちは「ソーシャルキャピタル」と呼んでいます。



それらを探す手立てとして、一つの地図にしたのが「あるまっぷ」。

私たちの身近に眠る未だ見ぬ価値を、ぴよ蔵と一緒に探してみませんか？

あるまっぷ実行委員会